

市立伊勢総合病院

○ 業務の概要

市立伊勢総合病院は、二次救急医療を始めとした地域の中核病院として、市民の健康増進と生活の質の向上を目指し、地域医療の継続発展を図るとともに、公営企業としての効率性を高めるよう努めてきた。

本年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症患者等受入病床の確保や新型コロナウイルスワクチン接種を始めとした、新型コロナウイルス感染症への対応を図るとともに、地域医療の確保及び予防医学に取り組んだ。また、安全・安心で高度な医療を提供するため、超音波画像診断装置、手術用顕微鏡及び内視鏡システム等の整備を行った。

利用状況は、入院患者数 82,192人（1日平均 225人）、外来患者数 126,495人（1日平均 521人）、健診者数 15,124人（1日平均 52人）となった。前年度と比較すると、入院患者数で 2,315人増加、外来患者数で 280人減少、健診者数で 387人増加した。

収支状況は、収益的収支において、消費税を除き収入額 8,937,239,341円（対前年度比 2.7%増）に対して、支出額 8,679,441,219円（対前年度比 3.0%増）となり、差引 257,798,122円の純利益が生じた。また、医師及び看護師奨学金の返還債務の免除により発生した資本剰余金の処分額 26,220,000円を含め、当年度未処理欠損金は 1,564,280,203円となった。前年度と比較すると、収入においては、患者数の増加や診療単価の上昇により、入院収益及び健診収益で増収となった。一方、支出においては、退職給付費、材料費及び光熱費等で増額となった。

資本的収支においては、収入額 569,300,000円、支出額 986,413,092円の執行となった。

今後も、新病院建設による企業債償還金、減価償却費のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい病院経営となることが予測されるが、引き続き、医師確保に努めるとともに、救急医療をはじめとする医療体制の充実強化、質の高い医療の提供、地域医療の推進、病院経営の健全化に取り組んでいく。

1 職員に関する事項

（各年度3月31日現在）

区分	医師	医療 技術職	看護職	事務 その他	計	会計年度 任用職員	合計
	人	人	人	人	人	人	人
令和4年度	56	90	(4) 245	(2) 29	(6) 420	174	(6) 594
令和3年度	54	(1) 93	(5) 251	(2) 32	(8) 430	167	(8) 597

*（ ）は、外書きで再任用短時間勤務職員を表す。

2 経理の状況

(1) 令和4年度伊勢市病院事業損益計算書

令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで			
借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
病院事業費用	円 8,679,441,219	病院事業収益	円 8,937,239,341
医業費用	8,078,397,276	医業収益	6,471,170,475
給与費	4,302,054,084	入院収益	4,460,076,884
材料費	1,401,331,602	外来収益	1,818,099,811
経費	1,336,228,829	他会計負担金	56,658,000
減価償却費	992,616,771	その他医業収益	136,335,780
資産減耗費	1,589,981	健診収益	359,377,569
研究研修費	44,576,009	健診収益	359,377,569
健診費用	214,839,933	医業外収益	2,106,691,297
給与費	147,169,129	他会計補助金	366,506,400
材料費	6,834,261	他会計負担金	485,783,000
経費	44,331,743	県補助金	753,112,348
減価償却費	16,504,800	国庫補助金	3,775,636
医業外費用	386,133,465	長期前受金戻入	462,666,942
支払利息及び 企業債取扱諸費	60,706,669	その他医業外収益	34,846,971
雑損失	290,106,442		
負担金	5,652,554		
医業外雑費	29,667,800		
特別損失	70,545		
固定資産売却損	70,545		
当期純利益	257,798,122		
合 計	8,937,239,341	合 計	8,937,239,341

(2) 令和4年度伊勢市病院事業貸借対照表

		令和5年3月31日	
借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	円 16,384,629,272	固定負債	円 12,158,084,151
有形固定資産	15,864,075,459	企業債	10,364,103,728
土地	1,572,578,736	建設改良等企業債	10,364,103,728
建物	12,588,711,881	引当金	1,793,980,423
減価償却累計額	△1,492,712,055	退職給付引当金	1,793,980,423
構築物	1,530,514,503	流動負債	1,845,373,198
減価償却累計額	△201,753,271	企業債	951,357,645
器械備品	5,336,762,195	建設改良等企業債	951,357,645
減価償却累計額	△3,472,377,387	未払金	645,001,655
車両	8,809,691	医業未払金	528,341,955
減価償却累計額	△6,458,834	未払消費税	2,641,400
無形固定資産	3,562,685	その他未払金	114,018,300
電話加入権	3,562,685	引当金	246,324,000
投資その他の資産	516,991,128	賞与引当金	206,446,000
長期貸付金	320,135,000	法定福利費引当金	39,878,000
基金	196,856,128	その他流動負債	2,689,898
流動資産	2,808,766,458	預り金	1,689,898
現金預金	1,247,043,357	預り保証金	1,000,000
現金	1,285,000	繰延収益	1,448,116,618
預金	1,245,758,357	長期前受金	3,759,893,672
未収金	1,488,252,095	長期前受金収益化累計額	△2,311,777,054
医業未収金	1,171,739,585	資本金	4,254,000,000
医業外未収金	412,676,486	剰余金	△512,178,237
貸倒引当金	△96,163,976	資本剰余金	1,052,101,966
貯蔵品	73,471,006	受贈財産評価額	141,807,695
薬品	17,790,455	他会計補助金	89,845,648
診療材料	53,155,649	工事負担金	53,395,358
その他貯蔵品	2,524,902	寄附金	69,891,100
		他会計負担金	697,162,165
		欠損金	1,564,280,203
		当年度未処理欠損金	1,564,280,203
合 計	19,193,395,730	合 計	19,193,395,730

3 病院利用状況 令和4年度

診療科目	入院	外来
内科	人 24,953	人 26,524
循環器内科	8,118	6,379
外科・消化器外科	6,548	8,064
整形外科	22,141	26,991
形成外科	869	2,289
皮膚科	1,220	9,636
泌尿器科	3,665	10,502
婦人科	—	2,514
小児科	—	73
耳鼻いんこう科	—	721
眼科	1,362	6,834
精神科	—	3,929
脳神経外科	—	248
歯科口腔外科	1,296	11,296
放射線科	—	3,359
麻酔科	—	825
脳神経内科	2,622	5,754
ホスピス科	2,444	10
リハビリテーション科	6,884	419
呼吸器外科	70	128
計	82,192	126,495

4 物品購入に関する事項（金額100万円以上）

購入年月日	器械備品名	規 格	金 額
4. 10. 31	シーリングペンダント	ドレーゲルジャパン（株） Ambia Easy Lift (Ambia M Head 500)	円 2,915,000
4. 11. 14	音声入力システム	（株）アドバンスト・メディア AmiVoice Ex7 Rad	1,980,000
4. 11. 30	デルマトーム	ジンマーバイオメット（同） エアーデルマトームハンドピース	1,353,000
4. 12. 27	超音波画像診断装置	富士フィルムヘルスケア（株） ARIETTA 850 DeepInsight	19,690,000
5. 1. 23	マルチファンクション・ レフラクトメーター	（株）トーマコーポレーション MR-6000	4,620,000
5. 2. 28	筋電図・誘発電位検査シ ステム	ガデリウス・メディカル（株） ニコレーEDX 日本光電工業（株） Neuropack S3	11,880,000
5. 2. 28	前立腺生検システム	タカイ医科工業（株） BioJetソフトウェア	19,602,000
5. 3. 10	長下肢装具	（株）松本義肢製作所 RAPS KAFO	1,105,500
5. 3. 15	内視鏡システム	オリンパス（株） VISERA ELITE II	14,619,000
5. 3. 15	超音波画像診断装置	GEヘルスケア・ジャパン（株） LOGIQ P10 R4.5	4,675,000
5. 3. 15	超音波画像診断装置	GEヘルスケア・ジャパン（株） Vscan Air CL	2,266,000
5. 3. 16	体成分分析装置	（株）インボディ・ジャパン ボディコンポジションアナライザー InBody970K	2,673,000
5. 3. 28	炭酸ガス炭素同位体比分 析装置	フクダ電子（株） POConePlus	1,859,000
5. 3. 31	手術支援システム	日本光電工業（株） PRM-7500	19,800,000
5. 3. 31	生体情報管理システム	日本光電工業（株） PRM-7100	19,470,000
5. 3. 31	全身麻酔装置	ドレーゲルジャパン（株） Atlan A300	4,730,000
5. 3. 31	手術用顕微鏡	カールツァイスメディテック（株） TIVATO 700	19,250,000
5. 3. 31	X線透視診断装置	GEヘルスケア・ジャパン（株） OEC One CFD	17,380,000
5. 3. 31	生体情報接続インター フェースシステム	富士通JAPAN（株）	5,940,000

5 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
楠 部 町 地 内	伊勢総合病院植栽補 植工事	植栽補植工 一式	円 1,485,000	4. 4. 14	4. 5. 24
〃	エアラインスターオー バーホール	エアラインスターオー バーホール一式	1,400,300	4. 11. 21	5. 3. 9
計	2件	—	2,885,300	—	—

○ 医師確保対策事業

病院事業の安定ひいては地域医療の存続のために、医師不足を解消すべく、確保対策の1つとして医師奨学金制度を運用している。

令和4年度卒業の医師奨学生2名は当院に就職し、貸与終了後の医師の安定的な確保に努めた。

<令和4年度 医師奨学生への奨学金貸与状況>

学 年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計
奨学生人数	0名	0名	2名	2名	2名	2名	8名

奨学金制度のみならず、医師を派遣していただいている三重大学をはじめとした大学や医療機関へ積極的に働きかけを行った。また、市健康福祉部と連携して実施する藤田医科大学の寄附講座事業においては、市民に対する介護予防の推進や、医療従事者への教育・指導により、伊勢志摩地域のリハビリテーションの質の向上を図ることができ、常勤のリハビリテーション科医師の継続雇用にも繋がっている。さらに内科（総合診療科）の常勤医師として後期研修医を2名、循環器内科の常勤医師1名を確保するなど、若手医師を中心とした医師確保に努めた。

初期研修医の確保については、就職説明会への参加や病院見学者の受け入れに努め、4名（医師奨学生2名を含む）が当院に就職した。

○ 地域医療連携関係

1 病診・病病連携

紹介患者の予約受付時間を引き続き18時30分まで1時間30分延長し、開業医からの要望に対応するとともに紹介患者の増加に繋げた。

地域における第一線の医療機関である「かかりつけ医」を支援し、地域医療の確保を図る病院として相応しい構造設備等を有する病院として、三重県より承認された『地域医療支援病院』の承認の継続に向け、紹介患者数の増加に努めるとともに、地域の医療従事者の質の向上のための研修会を開催した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、研修会についてはオンライン形式での開催や研修動画を当院のホームページにてYouTube配信を行った。

リハビリテーション科医師・専任の社会福祉士等が大腿骨頸部骨折地域連携パス連携会議（まいわし医療連携会）に出席し、紹介元医療機関及び地域の回復期リハビリテーション病棟を有する医療機関と連携し、治療経過の共有を行い、患者に切れ目のない質の高い医療を提供した。

<診療所等からの紹介患者数>

区 分	紹介患者数（延べ）
令和4年度	11,179 人
令和3年度	10,683
令和2年度	10,527

2 患者相談

患者相談においては、患者支援センターに社会福祉士4名・看護師3名を配置し、入院前・入院時における患者・家族等への支援を通じ、早期・円滑な相談対応、入退院支援に介入できる体制を構築した。また、ホスピス病棟については、専任の社会福祉士を配置し、本年度124件の問い合わせや相談に対応し43名の外来面談を行った。

<患者相談・支援対応件数>

区分	在宅復帰	施設入所・転院	入院相談	外来相談	経済的問題	その他	合計
令和4年度	件 4,249	件 6,387	件 1,371	件 1,661	件 349	件 1,694	件 15,711
令和3年度	4,053	5,772	1,371	1,442	352	1,463	14,453
令和2年度	3,750	5,527	1,234	1,097	415	1,061	13,084

○ 健診・人間ドック関係

各種疾患や生活習慣病の早期発見・早期治療により、地域住民の健康増進の一助となるべく、各健保組合等から受託する人間ドックをはじめ、全国健康保険協会の生活習慣病予防健診や法定健診等を実施した。

本年度も昨年度に引き続き、関連学会等の指針に基づく新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、受診者が安心して健診等を受けていただけるよう最善を尽くすとともに、多様化する受診者のニーズに対応すべく、腸内フローラ検査を令和4年10月から開始した。受診者数は15,124人で、前年度と比較すると387人の増加となった。

健診等の結果が要精密検査や要経過観察の判定となった方には、二次検査（外来診療）の受診案内を行い、疾病の早期治療につながるよう努めた。

1 受診者状況

区分	開設日数	受診者数			
		人間ドック	健診等	その他	計
令和4年度	290 日	7,080 人	7,321 人	723 人	15,124 人
令和3年度	283	7,017	7,223	497	14,737
令和2年度	267	5,854	6,814	559	13,227

※人間ドック…胃検査、脳ドックを実施したコース

※健診等…胃検査、脳ドックを実施しなかったコース

※その他…インフルエンザ、破傷風、B型肝炎等ワクチン接種、B型肝炎検査他

2 二次検査受診者数

区 分	受診者数（延べ）
令和4年度	1,810 人
令和3年度	1,920
令和2年度	1,562

○ 新型コロナウイルス感染症対策関連

新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ。

1 感染症対策

- (1) 新型コロナウイルス感染症患者等受入病床の確保
 - ・ 期 間 令和4年4月1日から令和5年3月31日
- (2) 発熱チェックの実施
 - 正面玄関及び時間外出入口
 - ・ 期 間 令和4年4月1日から令和5年3月31日
 - 職員通用口
 - ・ 期 間 令和4年4月1日から令和5年2月10日

2 新型コロナワクチン接種

- (1) 伊勢総合病院内に設置の特設会場（伊勢総合病院による接種）
 - ・ 実施期間 令和4年4月1日から令和5年1月31日
 - ・ 実施日数 51日
 - ・ 接種回数 10,650回

3 療養環境

- (1) オンライン面会の実施
 - ・ 期 間 令和4年4月1日から令和5年3月31日
 - ・ 件 数 292件

4 診療体制

- (1) 電話による再診
 - ・ 期 間 令和4年4月1日から令和5年3月31日
 - ・ 件 数 298件

5 新型コロナウイルス感染症対策に関連した補助金収入額

区 分	補助金収入額		計
	収益的収入	資本的収入	
県補助金	円 749,396,580	円 0	円 749,396,580